



# 鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## パウロの言葉

「あなたがたも賞を得るように走りなさい」

## 聖書(第1コリント書9章24節)

牧師 河合裕志

2020年は東京オリンピックということで楽しみにしている人は多いことだろう。オリンピックはギリシャのオリンピア市で行われた競技会を源流とするようだ。同じギリシャにあるコリント市でも隔年に開催される競技会は盛んだった。パウロはコリントに紀元49年より51年にかけて2年余り滞在したのでこの競技を目にすることもあったろう。そんなところから上掲の言葉になっている。

「賞を得る」、走者は栄えある優勝を目指して全力で走って行く。あなたがた信仰の世界に生きる者もかくあれよ、と勧める。賞を得るようにね。そしてパウロはこう続ける。「競技をする人は皆、すべてに節制します」。それはそうだろう。①食欲、②飲酒、③喫煙といったものの量を抑制して身体のコンディションをこわさないようにする。それを食べたいからといって量も質も考えないで食べ放題、これではバランスをくずす、余分な脂肪がついて軽やかに体を動かすことは出来ない。酒もタバコも同様。一体に一流のアスリート、競技者達はこうしたものを節制するだろう。常に自分の欲望とたたかっているのだろう。(こうした節制はアスリートでなくても心がけたいところ)。

そしてパウロは言う。「彼らは朽ちる冠を

得るためにそうするのですが、わたしたちは、朽ちない冠を得るために節制するのです」。古代ギリシャにおいて優勝者にはその頭に月桂樹の枝葉で作った冠がかぶせられた。月桂樹、それは栄誉のしるしであるが、なにせ植物なのでやがて朽ちて行く、枯れてしまう。その点私達は「朽ちない冠」を得るのだと。それはどんな冠? 一言で言えばそれは「永遠の命」といったもの。

初代教会にステファノという人がいた。

(原語はステファノス=「冠」の意)。彼は最後、石をもって殺害されたが、信仰を守り通したことにより永遠の命、永遠の国を受け継ぐ者となったことは確かだろう。彼のように華華しくなくとも地味であっても信仰者としての歩みをなすことができればキリストは冠をさずけてくれる。

そのための訓練はなんだろう。それは日々①聖書を読む、②祈る、③日曜礼拝に参加する。そのために多少の節制を心がける。見たいテレビや行きたいところを控える・・・それは訓練だけれど苦行といったものではなく楽しい、心安まるひと時。私は世の人々にこうした世界のあることを知って頂けたらと思う。

## 集會案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時